

南 木 曾 町

1 地域の概要

[位置および立地条件]

- 県南西部、岐阜県に接する。山林原野が95%を占め、農耕地は2%程度と僅少であり、かつ標高300~950mの間に分布した急傾斜地にある。

[農業構造]

- 農家数(2000年センサス)は、総数488戸、うち販売農家243戸。専業別では専業が27戸、第1種兼業7戸、第2種兼業211戸である。
- 耕地面積(平成16年調査)は303haで、うち田198ha、畑105ha(うち樹園地20ha)である。
- 主な作目は、水稻(平成16年105ha)、飼料作物(同ha)、畜産(肉用牛で平成17年に22戸)である。

[振興方向]

- 意欲的な農業者と兼業・高齢農家などが相互の営農を補完しあい、持続的な農業生産の展開を可能とする仕組みの構築を通じて、地域農業構造の再編成を進める。

[J A]

- J A木曾(農地保有合理化法人)

[支援センター]

- J A木曾南木曾支店に設置

2 GISの整備・取組み経過

[導入年度及び利用した補助事業]

- 平成 10 年度
- 農地情報管理システム整備事業

[導入方法]

- 国土調査が始まり公図と併せて管理することを目的に導入
- 「台帳システム」と「地図システム」を同時に導入
- 住民基本台帳と固定資産土地台帳を利用して農家・農地台帳を作成
- 税務課の管理する「地番図」、「地籍図」、「航空写真図」データを利用
- スタンドアローン型 1台

[管理主体]

- 経済観光課 農林係

3 電子地図の管理等

[システムで利用される地図データ]

- システムは、地番図を管理しており、必要に応じて 航空写真図を背景として重ねられるものとなっている（地籍図は一部のみ）



地 番 図
(ベクトル)



航空写真図
(ラスター)

4 維持管理

[地図データの更新]

- 年 1 回
- 税務課で更新された地図データにより更新
- 業者委託

[農家・農地台帳データの更新]

- 年 1 回
- 住民基本台帳、固定資産土地台帳との照合により更新
- 業者委託

5 システム活用事例等

[農業委員会としての利用]

- 貸付農地、転用申請時の位置確認
- 転用申請時の添付地図の作製

[その他の利用]

特になし

[その他]

- 「生産調整」: 別システム (GIS ではない) で管理
- 「農業振興地域」: GIS では管理されていない
- 「中山間地域等直接支払制度」: GIS では管理していない
- 「遊休農地」: GIS では管理していない
- 庁内には「税務課 GIS」と「森林資源管理 GIS」が導入されている

6 導入効果と今後の課題

[効果]

- 農地が分散していることから、掌握できなかった農地の位置確認が可能となった。
- 航空写真と重ねて地図を表示できることから、農家の問い合わせにも、素早く対応ができるようになった。

[課題]

- 過去に予算が取れなかった関係から、農林系 GIS と税務課 GIS の土地の整合性がとれていないため、農家に対して地図を提示することができなくなっている。今年度、問題解消のために予算措置をしたが、業者が破産してしまったためそれもできない状況となっている。
- システムメンテナンス及びデータメンテナンスを引き受けてくれる新規業者への移行を早急に検討する必要がある。



調査者：小澤 克巳（地域農業経営戦略研究会代表理事）